予算決算

事業成果をチェック❷

子どもたちのために 教育の充実へ

学校生活支援員配置



問　現場の支援員に過度な負担が生じるような状況ではないか。

答　支援が必要な子どもの人数に合わせて支援員の人数が決まるのが基本であり、学校と相談して現在の人数になっている。

GIGA スクール



問　教職員間のＩＣＴ習熟度の格差は改善できているか。

答　小中学校に情報通信技術支援員が月数回訪問し、疑問点や教材について相談対応している。

ヤングケアラー支援体制



問　ヤングケアラーを把握した後の支援方法は。

答　家事や介護負担が大きい子どもの家庭には介護保険サービス等へ繋ぎ、子どもが子どもらしく過ごせる環境を整えられるよう支援していきたい。

放課後児童健全育成



問　民間委託後、町の担当者が現場を訪問し、状況を把握しているか。

答　委託後も担当者が現場訪問や面談を行っている。

子どもの居場所づくり



問　具体的な成果は。

答　公民館で約150名が参加し多世代交流を図った。校区によって参加人数の差があるため周知方法を考えていきたい。

あそびステーション



問　土曜の利用状況やスタッフの体制は。

答　土曜日は父親の利用が増加している。また、スタッフは４人体制で、十分対応できている。